

みやま市のエネルギーの地産地消に向けた活動 ～エネルギーとしあわせの見えるまちづくり～

福岡県みやま市
環境経済部 エネルギー政策課

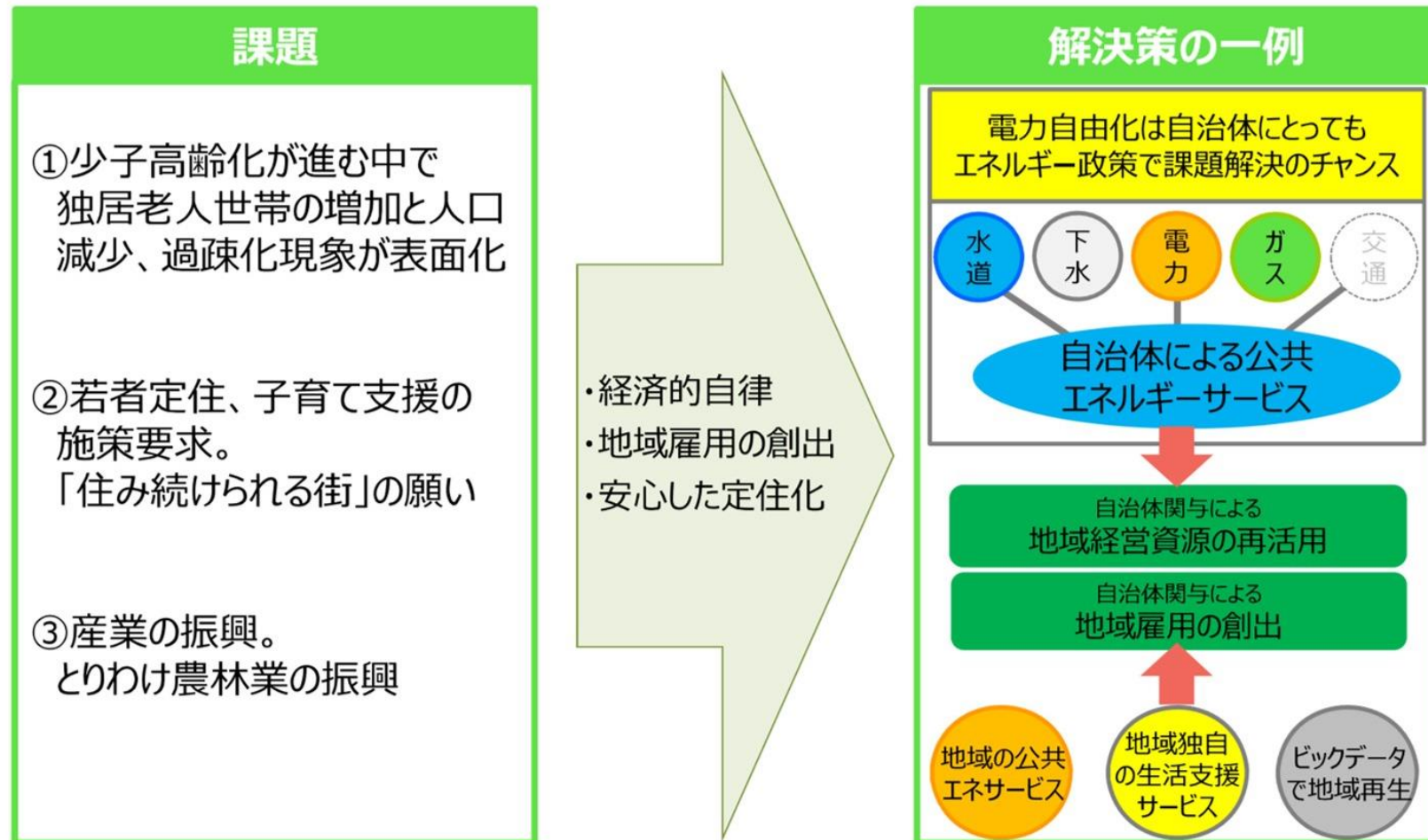


- みやま市データ (2019年3月末現在)
 - 人口 37,475人 ■世帯数 14,389戸
 - 高齢化率 36.1%
 - 面積 105.12 Km²
 - 日照時間 年間2,066時間
(過去10年間の平均値)
 - 太陽光発電施設設置普及率 10.8%
(全国6.6%)

【参考】総務省 - 平成26年全国消費実態調査 主要耐久消費財に関する結果の公表

地域新電力会社設立の趣旨

- 自治体が抱える課題を「公共エネルギーサービス供給」により解決
- 新しく生まれるサービスを根付かせ、みやま市に新しいビジネスを生み雇用が生まれ、経済を活性化させる



歩みのはじまり

メガソーラー施設の設置 5,000kW
2013年(平成25年)7月稼働

- ①市有地の活用 (10ha)
約16年間塩漬けの土地であった
- ②地域内経済循環への取組のはじまり
市外の大手企業ではなく、市内で
- ③市内商工業者への呼びかけによる特別目的
会社 (SPC) の設立
発電事業会社
⇒株式会社みやまエネルギー開発機構
(市も一部出資 出資割合約20%)



提供:(株)みやまエネルギー開発機構



循環のまち化

2014年に国の関係7府省が共同で募集する**バイオマス産業都市**として認定され、佐賀県佐賀市、大分県佐伯市とともに、九州で初の選定。

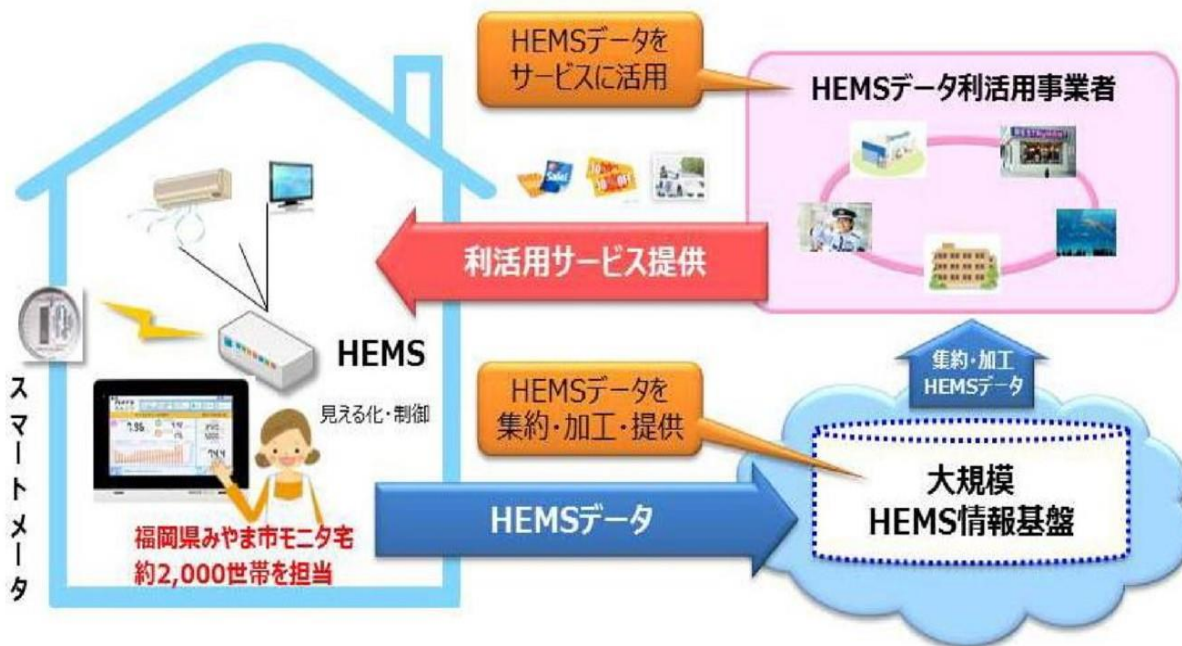
2018年12月にバイオマス施設が本格稼働。

みやま市バイオマスセンター ルフラン

- ・生ごみ・汚泥・食品工場汚泥・浄化槽汚泥・し尿を発酵させて、消化液とガスを生成。消化液（年間2万トン）は肥料として農地で使い、ガスは発電に使い、発電の際にできた熱は給湯に利用。
- ・旧小学校校舎の活用（カフェ・食品加工室・シェアオフィス・研修室など）

- ◆ 国のHEMS活用事業に参画し電力データを利活用したサービスの評価を確認
- ◆ 市民の生の声を活かして2016年4月からの生活総合支援サービスにつなげる考え

※HEMSとは「Home Energy Management System(ホーム・エネルギー・マネジメント・システム)」の頭文字をとったもので「ヘムス」と発音する。センサーやITの技術を活用して、住宅のエネルギー管理や省エネルギー管理を行うシステムのこと。



1 家庭用太陽光 余剰電力買取サービス

家庭で発電した電気を九州電力よりも1kWhあたり1円高く買い取ります。

電力会社 1円プラス 新電力会社

電気代を節約できて、エネルギーの「地産地消」にも貢献できます。

2 電気・ガス料金プラン 診断サービス

電気とガスを組み合わせ、わが家に最適な料金や機器のプランをご提案。10年間の費用シミュレーションもできます。

わが家にぴったりの節電ができます。

3 仮想電気料金プランと電気クーポンサービス

独自の、仮想の電気料金プランをご用意。実際に電力会社から請求される電気料金との差額をクーポンとして発行します。

電気代 今の電力プラン 仮想電気料金プラン

電気代の下がった分をクーポンとしてご提供

自然と節電意識が高まります。

4 高齢者見守り・健康チェックサービス

在宅のはずのご高齢者が不在と判別すると

ふだんと異なった生活行動があれば、サービスセンターが変化を見つけて、親族や協力者の方にご連絡します。

見守りセンターが 簡単な対応が 可能

親族などの登録者に連絡

ひとり暮らしでも安心です。

タブレット
配布

少し先にある未来の体感



日本初！自治体による低圧電力売買事業会社の設立

2015年3月 みやま市は電力と自治体ならではのサービスを提供する会社を作りました



2015年11月より電力を供給開始

エネルギーの地産地消の流れ 高く買い取り、安く販売

5500 kW
(一般家庭
1800世帯分)



メガソーラー

買取サービス
(契約済数
約220世帯)



家庭の太陽光余剰電力

卸電力取引所
も活用



九州電力



みやま市・
共同出資者

みやま
スマートエネルギー

11月
より



電力
調達

利益還元



住民サービスの充実

11月
より



電力
供給



市役所



一般家庭(平成 28 年 4 月～)

【高圧】
市の公共施設
(36カ所)

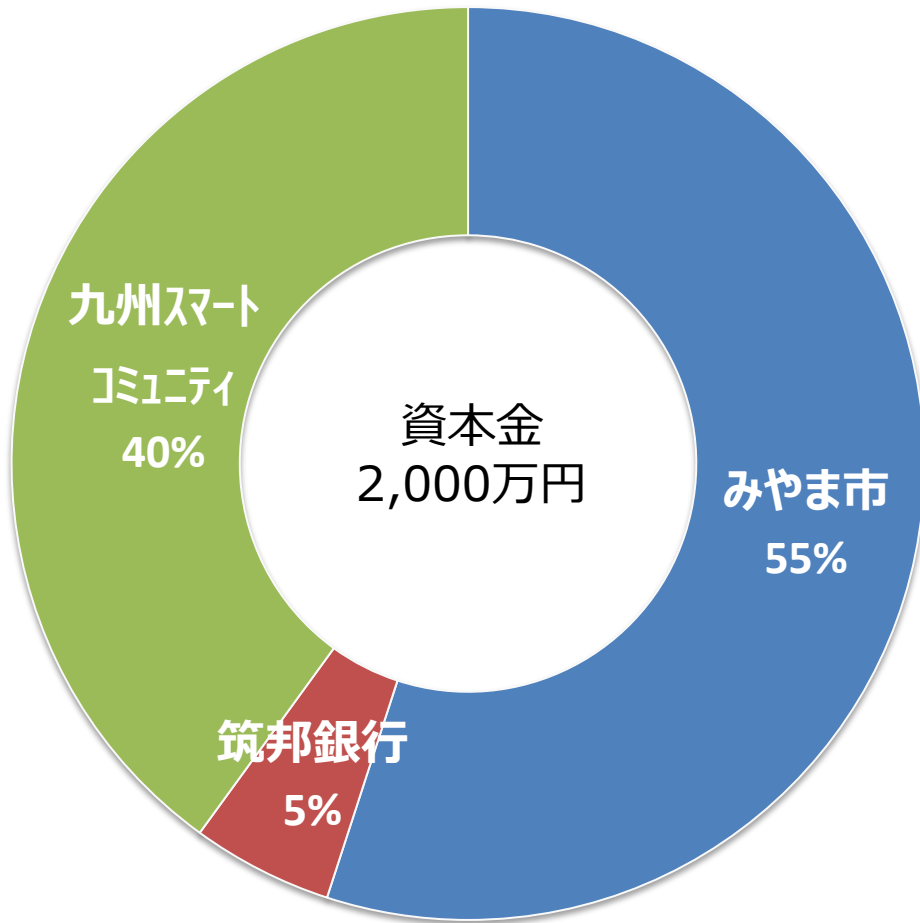
+

柳川市・大木町
の公共施設

+

民間の施設

【低圧】
一般家庭や
市内の商店等



※九州スマートコミュニティ(株)は2017年8月にみやまパワーホールディングス(株)に社名変更

みやま市

- 公共エネルギーサービスのしくみ構築を先導
- 収集された情報やサービスのノウハウを蓄積・分析し、市のエネルギー政策に反映
- 本事業の取組みを広報を通じて広く知らしめ、市民への啓蒙や他の自治体へ情報発信

筑邦銀行

- 資金面、事業管理面で事業運営を支援
- 地方銀行としての公共的使命を持って豊かな地域社会づくりをバックアップ
- 金融サービスや情報提供機能の向上・充実を図ることで経営の効率化、健全化をバックアップ

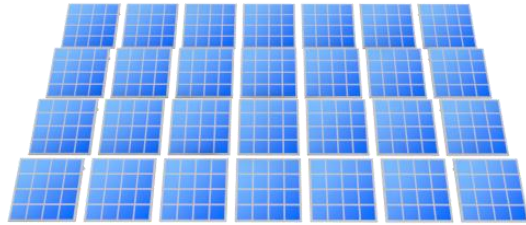
九州スマートコミュニティ

- 発電家獲得営業、需要家獲得営業、顧客管理支援
- 地域コミュニティの形成につながる企画提案



みやまスマートエネルギー(株)による「地産地消エネルギー」の地域活用

■メガソーラー



■家庭の余剰電力



地産



みやまスマートエネルギー

■市民サービス



■社会インフラ整備



■みやまの公共施設



■みやまの住宅



貢献

地消

市民サービスの充実

地域産業の活性化

行政が実施しにくいサービスを電力販売とセットで提供します
(行政サービスで設定された枠外をサポートします)

◎“電力の見える化”に加え、タブレット端末を利用して カンタンに操作できる、生活支援のサービスを提供いたします

見える化

HEMSによる電力の見える化
(24時間の電力使用状況グラフ)

みやま横丁

みやま市内の店舗から簡単にお買い物！
家に居ながらタブレット内に出来た商店街の中で
自由にお買い物ができる仕組みです

みやま 地域情報

みやま市の市政・行事
防犯・防災・避難所情報など



みやま横丁限定 セール開催

気軽に買える
送料無料
※会員ランクによって異なります

お店一覧・商品一覧ができ
お目当ての商品が
探しやすい



届いたら鍋に入れるだけ
カンタン鍋セット等
他にはない便利な商品も

お買い物すればするほど
ポイントもたまる！

なんでも サポートすっ隊

お話相手、水道・家電修理依頼、
リフォーム相談など



清掃



電球交換



犬の散歩

将来の世代へ、持続可能な地域社会づくり（故郷への愛着）を拡げていく・・・

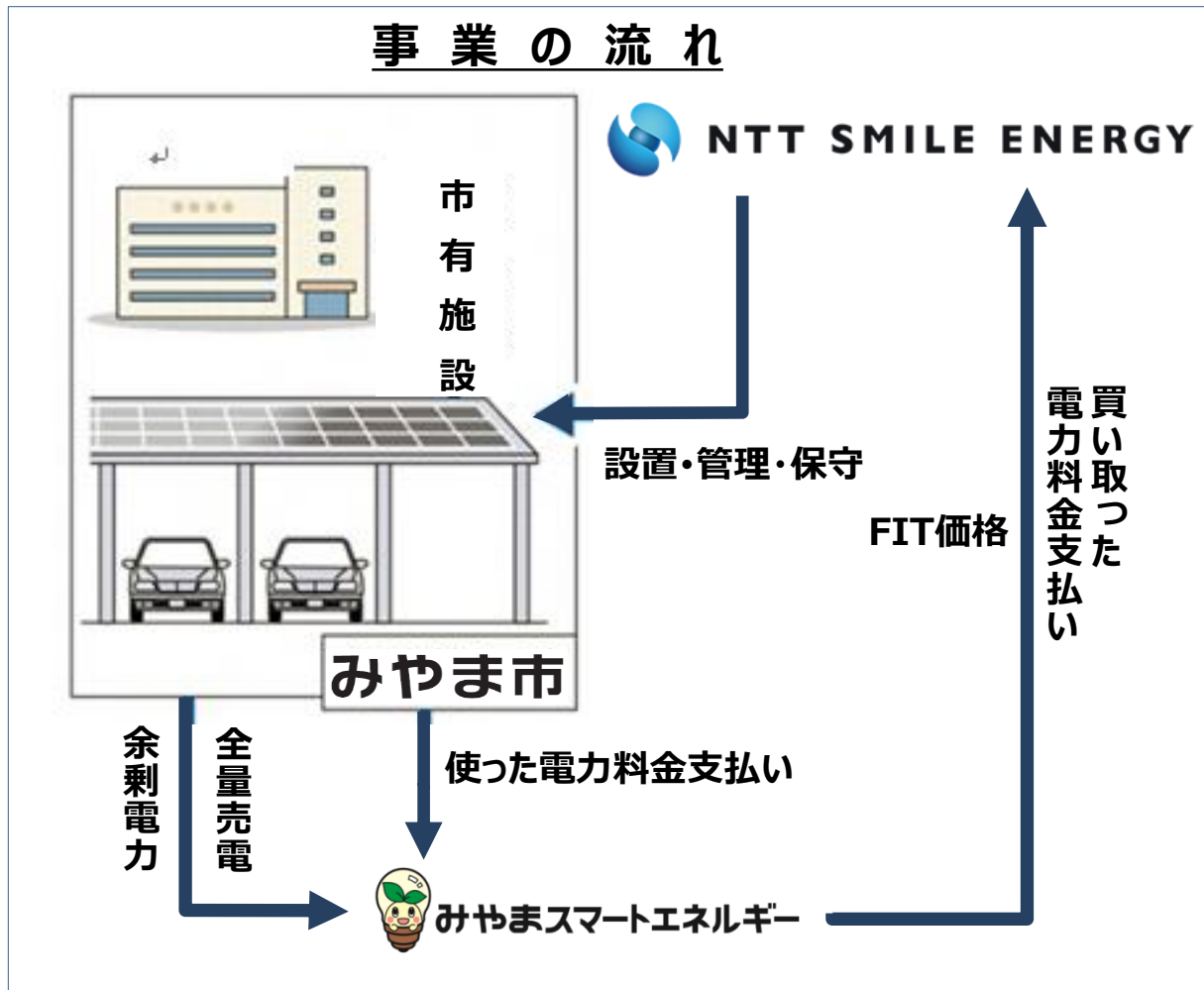
気づきの場

引き続き、市内小・中学校へ広めていく。

2019年度から市内全小学校5年生の社会科の時間でみやま市の取組みを学ぶ(副教材)



自治体出資の地域新電力に売電する第三者所有モデルとしては日本で初めての地産地消型屋根貸し事業を株式会社NTTスマイルエナジーと2019年4月から取り組む。



屋根貸し事業のメリット

【公有財産の有効活用】

使用料・償却資産税による
収益増加

【環境効果】

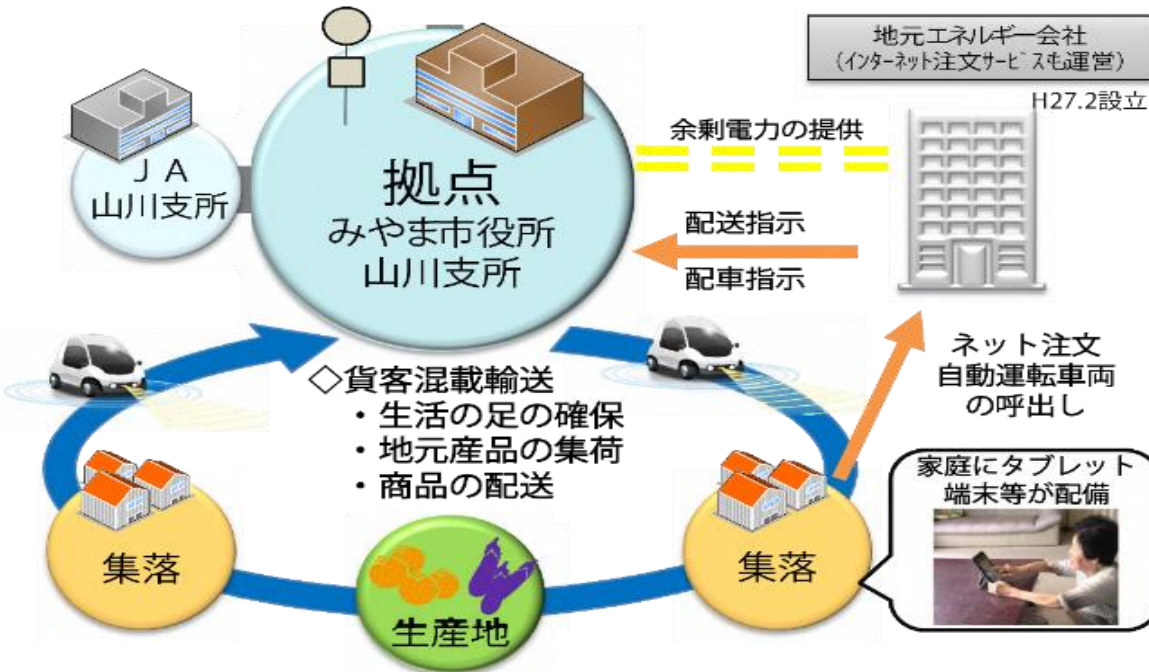
再エネ促進によるCO2削減・低炭素社会への貢献

【地域防災】

公共施設の非常用電源に
活用でき、災害時の備えに

地域力を高め、行政課題に対応していく力②

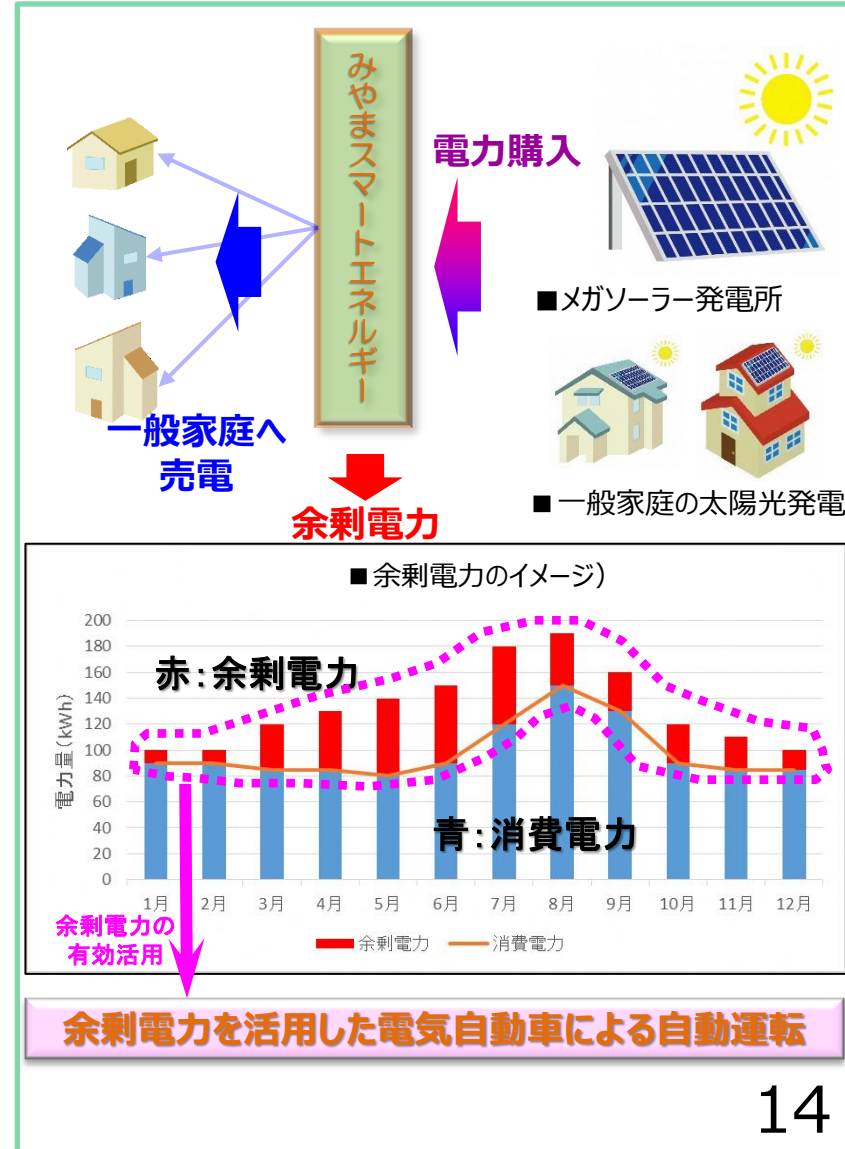
○地域に配布済みの**生活支援用タブレット端末**を用いて、**地元エネルギー会社の余剰電力**を活用した**自動運転**により、**地域内の生活の足や物流の確保**を目指す
(国土交通省実証事業2018年2月実施)



中山間地の課題解決のためにタブレット端末を活用

【生じるメリット】

- 買い物、通院、通学等の生活利便性の向上
- 高齢者による運転から安心・安全な自動運転への切り替え
- 外出の機会の増加による健康 寿命の延伸



It always seems impossible until it's done.

達成するまで、それは不可能に見える。ネルソン・マンデラ



みやま市のホームページ <https://www.city.miyama.lg.jp/>

検索